

複合施設における一宮生涯学習センターの概要

【生涯学習課】

1 現一宮生涯学習センターの利用状況（令和3年度）について

各部屋及び施設全体の利用率は低い状況です。

	利用件数 (件)	利用者数 (人)	利用率 (%)
集会室 (499.5 m ² 、定員 430 名)	305	9,195	29.92
教養娯楽室 A (89.38 m ² 、36 畳、定員 60 名)	257	3,201	16.51
教養娯楽室 B (88.56 m ² 、40.5 畳、定員 60 名)	349	4,250	21.83
第 1 談話室 (42.07 m ² 、定員 25 名)	105	858	10.24
第 2 談話室 (42.07 m ² 、定員 25 名)	272	2,331	16.96
合計	1,288	19,835	19.09

(参考 小坂井生涯学習センターの利用状況)

	利用件数 (件)	利用者数 (人)	伸び率 (%)	
			利用件数	利用者数
令和 2 年度 (旧施設の貸部屋・定員数) 貸部屋数 10 部屋、総定員数 565 名	1,690	14,868	—	—
令和 3 年度 (新施設の貸部屋・定員数) 貸部屋数 10 部屋、総定員数 358 名	3,402	32,593	201.3	219.2

※新型コロナウイルス感染症拡大の予防のため、R2.4.12(日)～R2.6.1(月)まで臨時休館。以降は、利用定員の制限、利用時間の短縮等を実施。

※令和3年度は、新施設移転に伴い R3.4.26(月)～R3.5.1(土)まで臨時休館し、令和3年5月2日に開館。

小坂井生涯学習センターの伸び率を考慮すれば、複合施設整備後における一宮生涯学習センターの利用率は現在より高まることが想定されます。

2 複合施設における一宮生涯学習センターの整備方針について

「公民館・生涯学習会館再編方針概要版（令和2年3月策定）」では、社会教育施設の建替え（新築）については、将来（2045年）の地区居住人口を目安に2種類の基本モデルを設定し、検討することとしています。一宮生涯学習センターは、Aタイプ（スタンダードモデル）に該当します。

《施設概要》

	Aタイプ (スタンダードモデル)	Bタイプ (ラージモデル)
地区居住人口	18,000人未満	18,000人以上
機能面積	約400㎡	約550㎡
仕様	集会室160㎡、和室2室60㎡、 会議室70㎡、会議室30㎡、 調理室80㎡ 計6部屋、EV設置	集会室200㎡、和室2室80㎡、 会議室70㎡、会議室50㎡、 会議室40㎡、会議室30㎡、 調理室80㎡、計8部屋、EV設置

3 各部屋の定員、利用内容、設備等について

上記整備方針をもとに以下の内容を基本として検討しますが、面積・定員等が変更となる可能性はあります。

	定員	利用内容	設備等
集会室	120名	太鼓、ダンス、劇の発表、 研修会等	音響、ステージ、長机、椅子（人数分）、ピアノ、防音壁、演台、司会台、ホワイトボード、大型ミラー、スクリーン、プロジェクター、カーテン ※机、椅子を収納できる倉庫の併設
和室2部屋	27名	囲碁将棋、日本舞踊等	折り畳み座卓、座布団、ホワイトボード、下駄箱
会議室①	35名	会議、研修会、各種創作活動等	長机、椅子（人数分）、ホワイトボード、カーテン ※会議室①と②の間仕切りを移動壁として一室として利用可能とする
会議室②	20名		※机、椅子を収納できる倉庫の併設
調理室	24名	料理教室	調理台、食器棚、冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器、調理器具、椅子（人数分）、下駄箱、カーテン ※電磁調理台とする

※各部屋の名称は仮名称です。